

1. ベルギーの政治動向

(1) サル痘ワクチン接種対象者を拡大、追加購入も発表

連邦政府と地域政府の保健当局で構成するリスク管理グループは、サル痘ワクチン接種の対象者拡大を発表した。ベルギーでは7月11日以降、特定の医療従事者や感染者と、予防なしで非常にリスクの高い接触をした人などを対象に、ワクチン接種を実施してきた。リスク管理グループは、感染者と接触した者の追跡は依然として非常に困難で、予防なしでリスクの高い接触をした後、所定の時間内に名乗り出る人の数も限られているため、ワクチン接種対象者を拡大し、リスクのあるより多くの人々がワクチン接種を受けられるようにするとした。(2022年7月29日)

★詳細はジェトロビジネス短信(2022年8月3日付)に掲載:

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2022/08/cbb1c63a1c312772.html>

(2) ブリュッセル首都圏地域政府、ブリュッセル中心部の新交通計画を開始

ブリュッセル首都圏地域政府は8月16日、ブリュッセル中心部に関する新しい交通計画の実施を始めた。調査の結果、ブリュッセル市内の自動車交通量の約3分の1は通過交通だったとして、車両の乗入れ禁止ゾーンの設定や一方通行への変更などによって、通過交通を減らし、住民や観光客、自転車にとってより快適な場所とすることを目指す。9月5日からは環状線付近にある7つのパークアンドライドが無料で利用できるようになる。また、首都圏地域政府が運営する自転車用の駐輪場の定期料金を75%下げる予定だ。

(2022年8月16日)

(3) 新型コロナの新規感染者数は減少、サル痘の感染者数の増加も鈍化

ベルギーの8月の1日当たりの新型コロナウイルスの新規感染者数は、中旬(8月11~17日)は1,704人(前週比21%減)、下旬(8月23~29日)は1,470人(同25%減)と、新規感染者数の減少傾向が続いた。また、サル痘に関しては、8月24日時点で671件の感染が確認された。5月以降、緩やかとはいえ感染が拡大していたが、徐々に感染者数の増加は鈍化傾向にある。一方で、3歳未満の子供の感染が初めて報告された。(2022年8月23、24日、9月2日)

(4) ド・クロー首相、ウクライナへの継続的な支援を約束

連邦政府のド・クロー首相は、ウクライナ政府が開催したオンライン国際会議「クリミア・プラットフォーム」首脳会合に参加した。首相は、ロシアによる2014年のクリミア半島併合や、同地に居住するタタール人などへの人権侵害を国際法違反だと厳しく非難し、ウクライナへの支持を改めて表明した。首脳会合は昨年につき、2回目の開催で、今回は日本を含む55の関係国政府・国際機関の首脳などが参加した。(2022年8月23日)

(5) 連邦政府、ウクライナへの非軍事的支援の実施を発表

連邦政府は、ウクライナへの非軍事的支援を行う、北大西洋条約機構(NATO)の「包括的支援パッケージ(CAP)信託基金」に協力し、同国に対して800万ユーロの支援を行うと発表した。救急箱など応急処置用備品や冬服のほか、現地でニーズがあれば、暗視鏡や医薬品などを提供するとしている。支援の実施にあたって競争入札を行い、ベルギー企業も参加できるとしている。(2022年8月25日)

(6) 記録的な猛暑と少雨となった2022年8月、降雨日数はわずか5日

8月の平均最高気温が27度と過去100年間で最も高くなるなど、ベルギーでも2022年の夏は記録的な猛暑、また少雨となった。7月と8月の降雨量は23mmと、これまでで最も少なかった1921年の25.8mmを下回った。8月の平均降雨日数は14.3日だが、2022年8月はわずか5日だった。8月の平均気温は19.6度で、2018年8月(19.9度)に次ぐ高さとなった。(2022年8月30日)

(7) 減税措置の延長などエネルギー価格高騰への対策を発表

連邦政府は、エネルギー価格の急激な上昇が続く中、企業と家計に与える影響を緩和するための6つの政策を発表した。既に実施されているガソリンと軽油に対する特別物品税の軽減措置や、電気・ガスにかかる付加価値税(基本税率:21%)の税率を6%にする減税措置の延長や、建物の解体や改築にかかる付加価値税率を6%に減税する措置を2023年末まで延長する措置などを発表した。ド・クロー首相は、エネルギー価格の高騰による影響に懸念を示しつつも、ベルギーにおけるガスの備蓄水準が既に80%を超えていることや、事業者に対して発電施設の点検・整備を今冬から来春に延期することなどを要請して最大限の発電容量を確保するための措置を講じていると指摘。厳冬にならなければ、ベルギーではエネルギーが余るので、近隣諸国にエネルギーを提供することもできるとした。

一方で、欧州の現在の電力とガスの卸売価格は、他の地域と比較して不合理に高く、市場介入が必要な水準に達しているとした。(2022年8月31日)

★詳細はジェトロビジネス短信(2022年9月2日付)に掲載:

<https://www.jetro.go.jp/biznews/f477bac5dc939284>

2. ベルギーの経済動向

(1) フランダース地域、2021年2月以降初めて求人件数が前年同月を下回る

フランダース地域の就労支援機関VDABは、2022年7月末の求職中の失業者数が27万1,510人(一時帰休の対象者は含まず)となり、失業率は5.8%と、前年同月と比較すると0.5ポイントの改善となったと発表した。VDABによれば、同地域の7月の求人件数は2万7,263件と、前年同月比3.5%減となり、2021年2月以降で初めて、求人件数が前年同月比でマイナスとなった。(2022年8月1日)

(2) ブリュッセル首都圏地域、7月の失業率は15.0%、12カ月連続で改善

ブリュッセル首都圏地域の就労支援機関アクティリス(Actiris)は、2022年7月の求職者数は8万6,167人(前年同月比2.7%減)となり、失業率は15.0%だったと発表した。失業率は12カ月連続で改善しており、若年層の失業者も前年同月比4.7%減だった。4月の求人件数は7,483件で、前年同月比57.5%増だった。(2022年8月2日)

(3) 第2四半期のGDP成長率は前期比0.2%、3期連続で成長が鈍化傾向

ベルギー国立銀行(NBB)は、ベルギーの2022年第2四半期(4~6月)の実質GDP成長率を前期比0.2%(季節調整済み)、前年同期比では3.3%と発表した。2021年11月以降の新型コロナウイルスの感染拡大第4波の影響により、経済成長がやや減速した2021年第4四半期(10~12月)以降、経済成長は継続しているものの、成長率は3期連続で鈍化傾向にある。(2022年8月31日)

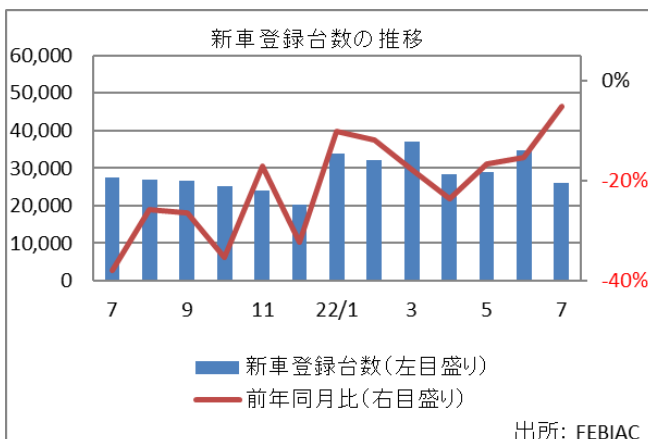
★詳細はジェトロビジネス短信(2022年9月2日付)に掲載:

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2022/09/905bab31cb532bf7.html>

<月例経済指標>

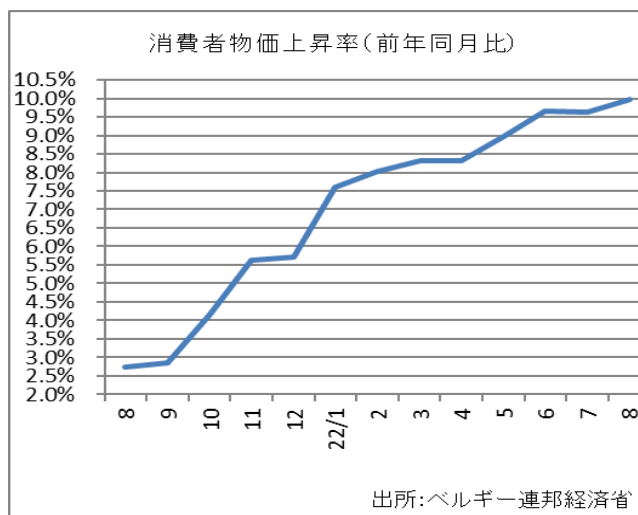
7月の新車登録台数：前年同月比5.2%減

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）によると、7月の乗用車の新車登録台数は、2万6,191台（前年同月比5.2%減）となった。様々な部品不足により、依然として生産に遅れが出ている。ブランド別では、BMWのシェアが10.8%と最も大きく、これにプジョー（9.0%）、フォルクスワーゲン（8.8%）が続いた。（2022年8月1日）



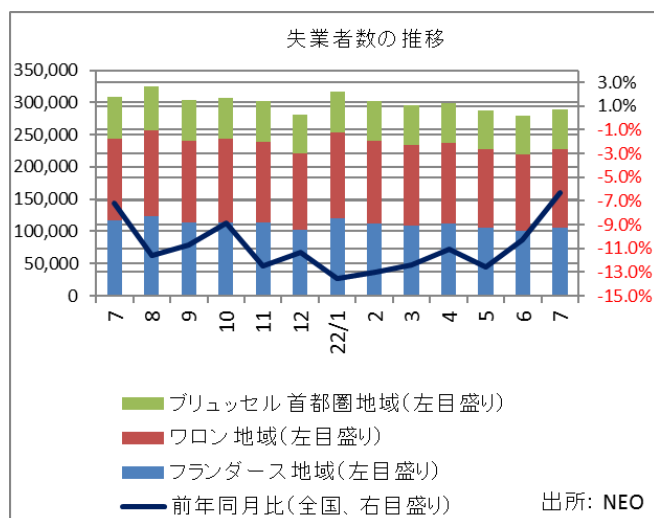
8月のインフレ率：前年同月比9.94%上昇

連邦経済省の発表によると、8月の消費者物価指数は前年同月比で9.94%上昇した。過去最高となった1976年3月の9.96%に匹敵するインフレ率となった。電気、天然ガス、パン・穀物類、衣類、菓子類、アルコール飲料、ホテルの客室料金、肉類、ボディケア用品が値上がり要因となった。他方、燃料、暖房用燃料、果物が押し下げ要因となった。（2022年8月30日）



7月の失業手当受給者数：前年同月比6.3%減

国立雇用局（NEO）は7月の失業手当受給者数が28万9,249人（前年同月比6.3%減）で減少したと発表した。地域別にみると、フランダース地域が10万5,017人（同9.7%減）、ワロン地域が12万1,800人（同4.2%減）、ブリュッセル首都圏地域が6万2,432人（同4.1%減）だった。（2022年8月31日）



3. ベルギーの産業動向

(1) ロータス、タイに新工場を建設すると発表

製菓大手ロータスは、タイ東部のチョンブリ県に、新しい製造工場を建設すると発表した。今後数カ月以内に用地を取得し、2026年の生産開始に向けて準備を進める。同社はアジア太平洋地域において、直近の5年間、2桁の年平均成長率（CAGR）を記録し、同社の売上高上位25カ国には、日本、中国など同地域の7カ国が入っている。その上で、巨大消費市場である同地域での成長の可能性は依然として大きいとして、事業拡大への意欲を見せた。（2022年8月3日）

(2) ゲントのCO₂の貯留・液化ハブ事業に関する調査を開始

ベルギーのエネルギー・インフラ企業フルクシス（Fluxys）、ルクセンブルクの鉄鋼大手アルセロール・ミタルとノースシーポートは、二酸化炭素（CO₂）の貯留・液化ハブ・プロジェクト「ゲント・カーボン・ハブ」の実行可能性調査を開始した。3社はCO₂の回収・利用・貯留（CCUS）関連のインフラ構築を進めており、調査を経て、2027年に試運転を行うことを目指すとした。「ゲント・カーボン・ハブ」は、ベルギーの産業部門のCO₂排出量の約15%に相当する、年600万トンのCO₂の処理能力を持つとしている。（2022年8月18日）

(3) 電力価格が過去最高水準に達する

風力発電量の不足、高温などのため、8月22日には1メガワット時（MWh）あたり561.94ユーロ（卸電力市場価格）に達するなど、ベルギーの電力価格は8月、過去最高水準へと高騰した。主な要因には、フランスの原子力発電所の数基が運転を停止していることや、猛暑に伴い、水位が下がったことで水力発電量が少なく、そして特に欧州では風がほとんど吹かなかったため、風力発電量も不足したことがある。また、8月後半にかけて、気温が30℃まで上昇し、冷房の利用が増え、電力消費量がさらに増加すると予想されたことも高騰の要因となった。また、フランスとドイツではベルギー以上に電力価格が上昇しているため、ベルギーの発電事業者が電力の輸出を増やしたことも、ベルギーでの電力価格の上昇につながった。（2022年8月22日）

4. EUの動向(～「ジェットロビジネス短信」より～)

(1) EU、サル痘ワクチンを承認、一般住民の接種は不要との見解(2022年8月3日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/190b9dd9d83e9673>

(2) EU、8月8日から食品への白色着色料の二酸化チタンの添加禁止(2022年8月8日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/817e100825b5eb14>

(3) EU理事会、一部加盟国に配慮し大幅な例外容認するも、ガス需要削減規則を採択(2022年8月9日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/9710859a81b3426c>

(4) ロシア産天然ガスのEU・英国向け輸出が日量で約40年ぶりの低水準に、米エネルギー情報局(2022年8月10日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2022/08/e83e0db350964108.html>

(5) 欧州委、米モデルナの新型コロナ変異株対応型ワクチンを追加購入へ(2022年8月12日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/a7a19c9ff77618cd>

(6) ギリシャ、第3次金融支援後の欧州委員会による監視強化終了(2022年8月26日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/8a0b9fbcfce2867a>

(7) 深刻さ増す欧州の干ばつ、農業や電力部門などへの影響広がる(2022年8月29日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/9459417fa463a9ce>

(8) 欧州委、電力価格の緊急介入策を提案へ、電力市場改革の意向もあらためて示す(2022年8月31日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2022/08/76e51e5808dfb736.html>

(9) 欧州鉄鋼連盟、2023年の鉄鋼需要回復を見通すも不確実性を懸念（2022年8月31日付）

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2022/08/e2ee5dcebb308e8c.html>

(10) 世界の政治・経済日程（2022年9～11月）（欧州）（2022年8月31日付）

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2022/08/a4e8587ad2a6f36f.html>

★メールマガジン「ジェットロ EU トピックス」のご案内

ジェットロ・ブリュッセル事務所では、EUの最新情報や欧州域内のジェットロ各事務所が実施するセミナー情報などをお届けするメールマガジン「ジェットロ EU トピックス」を配信しています。配信日は毎月第1木曜日を目安としています。配信を希望される方は、以下のようにお申し込みください。

(1) 欧州域内にお住まいの方：以下の必要事項をご記入の上、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお申し込み下さい。

①お名前とご所属先（英文・和文）、②お住まいの国名、③送付先メールアドレス

(2) 欧州地域以外に在住の方：以下の URL からお申し込みください。

https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be_brussels/mail.html

※内容についてなど、ご質問などございましたら、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお問い合わせください。

<調査レポートのご案内>

(1) 地域・分析レポート「気候変動対策から安全保障への転換」(2022年9月)

① EU エネルギー政策と欧州グリーン・ディール

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2022/0802/fe5c7cbe5bbebad.html>

② EU エネルギー政策の最新動向

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2022/0802/2d730afa9b0a9710.html>

③ ロシア産化石燃料依存からの脱却へ

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2022/0802/f16b356bd78d892f.html>

④ 「リパワーEU」計画を読み解く

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2022/0802/22edf85aa93cf592.html>

(2) 調査レポート「EU デジタル政策の最新動向(全4回報告)」

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2022/01/eca9090eff406247.html>

・第1回:「EUの半導体政策と半導体法案の概要 EU デジタル政策の最新動向」(2022年8月)

(3) 地域・分析レポート「EUの2021年の乗用車販売・生産台数、新型コロナ直撃の2020年も下回る」(2022年8月)

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2022/da13d1db3d6cb062.html>

(4) 地域・分析レポート「燃料価格高騰、ヒートポンプ導入加速化を後押し」(2022年8月)

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2022/bc7a2301640f8da4.html>

(5) 調査レポート「EU サステナブル・ファイナンス最新動向-タクソミー規則を中心に-」(2022年6月)

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2022/01/98c49a1fcb65fdd4.html>

(6) 地域・分析レポート「再エネ活用で気候中立を目指す、アントワープ・ブリュージュ港を水素拠点へ」(2022年9月)

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2022/0802/7652039916a9426e.html>

『ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ』

日本人会商工委員会と日本貿易振興機構（ジェトロ）ブリュッセル事務所は、EUの政策動向、欧州各国の政治・経済情勢、労務・法務・会計等の制度情報など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセミナーを年に4回程度開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、belinfo@jetro.go.jp までメールアドレスをご連絡ください。

『ベルギー拠点設立に関する専門家相談サービスのご案内（法務・労務・税務）』

ジェトロ・ブリュッセル事務所では、ベルギーに拠点設立を検討されている企業様、またはベルギーに進出後まもない企業様を対象に、弁護士・税理士等によるコンサルテーションサービスを提供しています。ぜひご活用ください。

<サービス詳細・お申込み>

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/beb/consultationsrv>

<お問合わせ先>

ジェトロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp)